

令和5年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立大山小学校

2. 令和5年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	・児童が地域の方々と一緒に学校の花壇や地域の公園に花を植えたり、ヘチマのたわしを地域の方に贈呈したりするなかで、地域の方々への思いや願いをもって活動に取り組むことができた。また、地域の一員であることを実感することができた。
立川市民科の取組の課題	・児童が主体的に学習を進めていくために、多くのゲストティーチャーの招聘や児童の実態に応じた資料の提示等、「課題設定の段階」を充実させることが大切である。

3. 令和5年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
60.1%	25.1%	9.1%	1.6%	4.1%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
47.2%	32.5%	4.9%	0%	15.4%